

用語集

【ア行】	
ICカード乗車券	磁気カードと比較して、記憶できる情報量が多く、セキュリティに優れるというメリットがある。さらに非接触型のICカード乗車券は、装置に差し込む必要がなく、近づけるだけで情報のやり取りが可能である。そのため、利用者にとって便利であり、機械的な接触部分がなく故障が少ない、メンテナンスが容易であるという長所がある。
ITS	Intelligent Transport Systems の略。最先端の情報通信技術を用いて人と道路と車両とを情報でネットワークすることにより、交通事故、渋滞などといった道路交通問題の解決を目的に構築する新しい交通システム。
アクセシビリティ	情報やサービスなどが、高齢者や障がい者も含めてどんな人にも利用しやすいこと。
インセンティブ	報酬など、人や組織の意欲を誘引するもの。
運輸政策審議会	総合的輸送体系の樹立のための基本的な政策及び計画の策定などを調査・審議するため、旧運輸省内に設置された審議会。平成13年からは国土交通省内に新設した交通政策審議会にその役割を委譲した。
駅勢圏	交通計画において、ある鉄道駅を利用する人の多くが居住しているものと想定した範囲を指す。明確な基準は無いが、徒歩などにより10分程度で駅に到達できる、およそ鉄道駅を中心とした半径800～1000mの範囲をいう場合が多い。
駅密度	可住地面積あたりの鉄軌道駅数（JR、私鉄、地下鉄、新交通システムなど）。
エコ交通マップ	交通エコライフを実践するための手助けとして、バスや地下鉄のルート、歩いて楽しいところ、自転車のおすすめルートなどを落とし込んだマップ。
NPO	Non-Profit Organization の略。営利を主目的とせず様々な活動を自主的・自発的に行う民間の団体・組織。
LRT	Light Rail Transit の略。低床式車両を活用し、定時性・速達性・快適性などの面で優れた特徴を有する次世代型路面電車システム。
オープンカフェ	歩道や広場を利用して屋外に設置されたカフェ。
【カ行】	
カーシェアリング	1台の自動車を、複数の人が、共同で使うこと。
ガイドウェイバス	鉄道とバスの利点を組み合わせたシステムで、道路の中央分離帯上に設けた専用的高架を、車両の前後輪に取り付けた案内装置の誘導で走り、さらに同一車両で連続して走行できる特性（デュアルモード）を備えている。 交通渋滞区間では、高架専用軌道を走行し、定時・高速運行

	が可能となり、一般道路では路線バスとして各方面へ運行できる。
幹線、補助幹線、 区画道路	平面道路網は、幹線道路、補助幹線道路、区画道路、その他（歩行者専用道路、自転車専用道路等）に分けられる。幹線道路は、全国的、地域的あるいは都市内において、骨格的な道路網を形成する道路。補助幹線道路は、幹線道路と区画道路とを連絡し、これらの道路の交通を集散させる機能を持つ道路。区画道路は、沿道宅地のための交通、供給処理施設の収容、日照、通風等のための道路。
グローバル化	資本や労働力の国境を越えた移動が活発化するとともに、貿易を通じた商品・サービスの取引や、海外への投資が増大することによって世界における経済的な結びつきが深まること。
ゲリラ豪雨	予測が困難な、突発的で局地的な豪雨。
公共交通エコポイント	自動車の適正利用や公共交通への利用転換を進めるために、「公共交通の利用者」にポイントを出すことにより、地下鉄等の公共交通の利用促進を図るシステム。
交通基本法	交通に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、交通に関する施策について、基本理念を定め、及び国、地方公共団体、事業者等の責務を明らかにするとともに、交通に関する施策の基本となる事項等について定めるもの。平成23年3月8日に交通基本法案が閣議決定された。
交通需要マネジメント	整備した交通施設の利用方法を工夫し、交通需要を適切に誘導することによって、交通を円滑に処理する手法。自動車の利用を公共交通へ転換させたり、自動車を共同で利用することによって自動車台数を減らすことが主な内容となる。別名TDM(Transportation Demand Management)。
交通バウチャー	「バウチャー」は「クーポン券」を意味する。公共交通などを利用できるクーポン券。
コミュニティサイクル	サイクルシェアリングの1つ。長時間の利用を中心とするレンタサイクルとは異なり、短距離・短時間の移動手段として自転車をレンタル利用する。専用の自転車貸出返却場所（ステーション）が複数設置され、ステーション間の移動であれば、どこで借りてどこへ返してもよいシステム。
コミュニティバス	地域住民の利便性向上等のため一定地域内を運行するバスで、車両使用、運賃、ダイヤ、バス停位置等を工夫したバスサービスのこと。
【夕行】	
代表交通手段	1つのトリップの中でいくつかの交通手段を用いている場合、そのトリップの中で利用した主な交通手段を代表交通手段という。代表交通手段の集計上の優先順位は、鉄道→バス→自動車→二輪(自転車、原付・自動二輪車)→徒歩の順となる。
地域公共交通活性化・再生総合事業	地域公共交通の活性化・再生のため、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律を活用し、地域の多様なニーズにこたえる

	ために鉄道、コミュニティバス・乗合タクシー、旅客船等の多様な事業に取り組む地域の協議会に対し、パッケージで一括支援する制度であり、地域の創意工夫ある自主的な取組を促進するもの。
地域公共交通確保維持改善事業	生活交通の存続が危機に瀕している地域等において、地域の特性・実情に最適な移動手段が提供され、また、バリアフリー化やより制約の少ないシステムの導入等移動に当たっての様々な障害（バリア）の解消等がされるよう、地域公共交通の確保・維持・改善を支援するもの。
地域公共交通計画 (LTP=Local Transport Plan)	地域が目指す将来の姿を実現するために公共交通が分担すべき領域とその方法を明らかにした計画。
駐車マネジメント	交通混雑地区の駐車場の適正な利用促進や円滑な都市交通の実現を図るために、駐車場の供給や配置の誘導及び駐車場情報の提供、パークアンドライドの推進等の総合的な駐車施策を展開すること。
ちょい乗りバス	都心部において買い物、観光、仕事などのちょっとした移動の際に乘れる便利なバス。
低炭素化	地球温暖化問題を解決するため、CO ₂ などの温室効果ガスの排出を抑えること。
道路率	土地全体（行政区域面積）に占める道路の面積の割合。
都市計画道路	都市計画法に基づき都市計画決定を行った道路。自動車専用道路、幹線街路、区画街路、特殊街路の4つに分かれる。
土地区画整理事業	一定の区域において、生活になくってはならない道路、公園などの整備改善を行うとともに、個々の宅地を整形で公道に面するようにするなどして、土地の利用増進を図る方法。
トランジットモール	トランジット(transit)は移動、モール(mall)は遊歩道、車両乗り入れ禁止の商店街。公共交通機関と歩行者用の空間の共存したモールのこと。都心などにおいて、自動車の自由な出入りや移動を制限し、公共交通機関（バス、路面電車等）に開放した、歩行者と公共交通が共存した道路。
トリップ	人の動き。ある目的による出発地から目的地までの移動を1トリップとする。
【ナ行】	
名古屋大都市圏	経済、社会、文化など、広範な分野で緊密な関係を持つなど、一体的な地域としてとらえられる広域的な圏域であり、名古屋市を中心に、愛知・岐阜・三重県下にまたがるおおよそ半径40～50kmの範囲。
荷捌きスペース	商業施設などへ配送する荷物を積み下ろすための駐車スペースのことで、道路上に設置する「路上荷捌きスペース」とそれ以外の「路外荷捌きスペース」のこと。
乗合いタクシー	個別輸送型の公共交通機関としてのタクシーを、乗合自動車として運行するもので、バスの運行には需要が小さい場合、需

	要が偏在している場合など、バスとタクシーの中間的なサービスとして位置づけられる。定時定路線型、デマンド型などの形態がある。
【ハ行】	
パーク&ライド	道路交通渋滞の緩和・公共交通機関の利用促進・環境負荷の軽減を目的に、最寄り駅まで、自宅から自動車を使い、駅に近接した駐車場に駐車し、公共交通機関に乗り換えて目的地までいく交通手法。
パーソントリップ調査	「どのような人が」「いつ」「どこから」「どのような交通手段で」動いたかについて調査し、1日のすべての動きを捉えるもの。中京都市圏では、これまで、1971(昭和46)年、1981(昭和56)年、1991(平成3)年、2001(平成13)年の4回行っている。
パブリック・プライベート・パートナーシップ (PPP)	公共と民間が協力して、パートナーシップを組んで行う公共サービスの総称。行政サービスを、民間企業、住民、NPOなどと協働して提供することで、行政の効率化と公共サービスの質的向上を実現する取組み。民間委託、指定管理者制度、PFI、民営化などをはじめ、様々な手法がある。
バリアフリー	高齢者・障害者等が社会生活していく上での物理的、社会的、制度的、心理的及び情報面での障害を除去するという考え方。例えば、公共交通機関のバリアフリー化とは、高齢者・障害者等が公共交通機関を円滑に利用できるようにすること。
BRT	Bus Rapid Transit の略。輸送力の大きなバスの投入、バス専用レーン、公共車両優先システム等を組み合わせた高次の機能を備えたバスシステム。
歩車共存道路	生活道路における通過交通の排除など、快適な生活環境の創造をもたらすことを目的とし、歩行者・自転車・自動車の通行空間が同一平面上にある、物理的に分離していない構造の道路。
【マ行】	
モビリティ・マネジメント (MM)	ひとり一人のモビリティ(移動)が、社会的にも個人的にも望ましい方向(例えば、過度な自動車利用から公共交通・自転車等を適切に利用する方向)に自発的に変化することをコミュニケーションを通じて促す交通施策。